

ビル・店舗・施設トータルメンテナンス
SANKI
SERVICE



SANKI SERVICE REPORT

第38期 年次報告書
2014年6月1日 ▶ 2015年5月31日

三機サービスは、こんな会社です。

人々の快適で安全な生活を支えるビル管理・メンテナンス事業者
空調機器メンテナンス事業からスタート。
業務施設のトータルメンテナンス事業への参入成功で
さらなる拡大を目指します。

ストック型モデルで積み上げた着実・安定した成長

価格競争が起りにくいニッチ業界で、
高い技術力を背景に信頼を獲得し、
30年以上安定した収益を維持しています。

コールセンターを軸に、トータルメンテナンス事業を全国へ展開

伝統の空調機器メンテナンス事業で積み重ねた
“技術力とノウハウ”を活かし、
活動分野の大幅拡大を目指します。

2015年4月、三機サービスは JASDAQに上場しました。

三機サービスは1976年に空調機器のメンテナンス業
を事業として開始して以降、産業機械のメンテナンス、厨
房機器のメンテナンス、環境事業など様々な分野へ対応
範囲を増やし、現在ではトータルメンテナンスで事業拡大
させ、“メンテナンスを核とした環境改善”に取り組み、エ
ネルギーの有効活用を推進しています。

“技術とノウハウを蓄積内在した日本一のメンテナンス
会社になる”を目標とし、今後もメンテナンスを自社社員
で行う内製化を様々な分野に広げていきます。

三機サービスの今後にご期待いただき、より一層のご
支援を賜りますようお願い申し上げます。

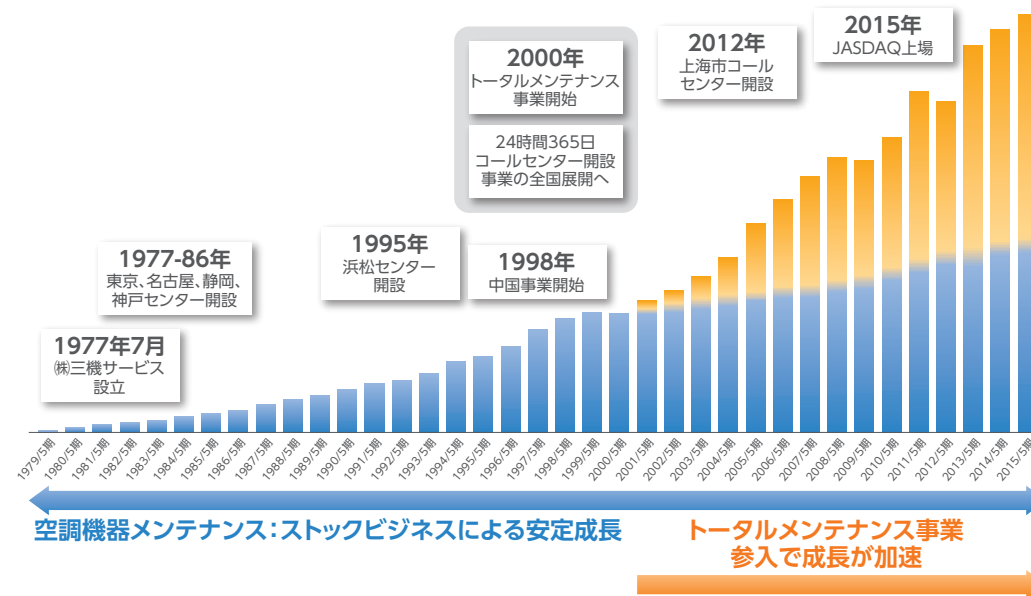
- 1976. 10 ● 株式会社兵庫機工の機械事業部の一環として、三洋空調システムサー
ビス株式会社(現 パナソニック産機システムズ株式会社)との業務提携
により、大型冷暖房機の据付・組立・試運転及び保守管理に関する委託
業務を開始
- 1977. 7 ● 株式会社兵庫機工より分離し、兵庫県姫路市飾東町に株式会社三機
サービスを設立
- 1998. 10 ● 中国上海市に空調機器の保守・メンテナンス業務を目的とした上海三機
大楼設備維修有限公司(現 連結子会社)を設立
- 2000. 9 ● トータルメンテナンス事業の全国展開開始
- 2012. 2 ● 中国上海市に24時間365日対応のコールセンターを開設
- 2015. 4 ● 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)市場に上場

代表取締役社長 中島義兼





JASDAQ上場を追い風に、 トータルメンテナンス日本一を目指します。



3

Q.1 上場されたことへの社内外の反響は いかがでしたか?

私たち三機サービスは、空調機器・電気・厨房・給排水衛生設備などの設備機器の保守管理を行っている企業です。現在のパナソニック産機システムズ株式会社様の空調機器のメンテナンスからスタートし、近年は店舗、施設の機器設備をトータルに一元管理させていただいています。

創業以来、一步一步の積み重ねによってお客様の信頼を得て、これまで事業を拡大してきましたが、扱っているのは“メンテナンス”という目に見えない商品。大手企業様の設備をトータルで安心して任せさせていただくためには、やはりそれなりの知名度が必要と考え、今春、JASDAQに上場させ

ていただくに至りました。

上場後すぐの出来事ですが、上場のニュースを新聞で見たとおっしゃる新規の企業様から直接お電話をいただき、トントン拍子に話しが進んで、ご契約をいただくことができました。「上場企業」の知名度と信頼度に期待してはいましたが、想像以上で、正直驚いています。

また当社は、全国規模で24時間365日体制でのメンテナンスを受注していますが、自社の全国8拠点をベースに、自社でカバーできないエリアなどは全国の優良なメンテナンス会社様とパートナー契約を結んで事業展開しています。今回上場したことで、パートナー会社様との交渉もスムーズに運ぶようになったことも、大きな成果だと感じています。

4

Q.2 三機サービスの強みについて お聞かせください。

当社の第一の強みは、長年の経験で培った技術力だと自負しています。技術職の新入社員は、様々な研修を受けた後、ブラザー制度によるOJTを実施しています。通常一人前になるのに3年以上かかるのですが、当社では徹底した教育で2年でひと通りの技術を習得します。こうしてプロとして活躍している技術者の定着率が高いのも特色かもしれません。現場経験を積んだ有能な技術者集団であることが、お客様から大きな信頼をいただいているのだと思います。

これら当社の技術力をいっそう強化するために、現在、研修センターの建設を進めており、来期中の稼働を予定して

います。この研修センターでは、様々なメーカーの機器を取り揃え、集中して学ぶことができるため、入社後1年で現場対応できることを目指します。同時に、経験豊富なシニア社員が専任の講師として教育に当たるなど、新たな教育システムの構築を進めていきます。

もう1つの強みは、当社独自のシステムにあります。24時間365日対応のコールセンターを設置。お客様からのご依頼、ご相談をリアルタイムで受け、トラブルに即対応できる体制を整えています。また、メンテナンス状況はWEBシステムで管理しており、お客様にいつでも状況を確認していただくことができます。特にチェーン展開されている企業様などは、複数の施設を一元管理できるため、好評をいただいています。

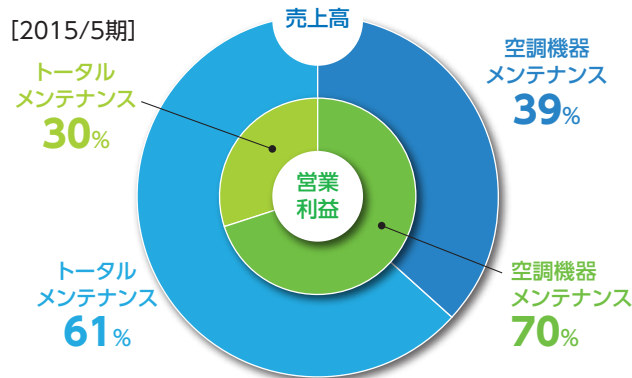
Q.3 第38期の決算について
ご報告をお願いします。

当期の決算ですが、売上高・営業利益ともに、計画目標を達成することができました。対前期比も大幅な増収増益となりましたことをご報告いたします。

当初の目論見としましては、トータルメンテナンス事業による売上増を予想していましたが、外食産業から介護や福祉といったターゲット業種のシフトの過渡期にあり、トータルメンテナンスを浸透させるのに、少し時間がかかってしまった結果、想定以上には、売上を伸ばすことはできませんでした。

これに反して、大きな増減なしを予想していた空調機器

メンテナンス事業が、クライアント様からの依頼増によってシェアを拡大。この結果、計画目標をクリアすることができました。



・空調機器メンテナンス事業は利益率が非常に高い事業です。
・トータルメンテナンス事業は近年黒字化し、今後の収益力が期待されます。



	空調機器メンテナンス事業 パナソニック産機システムズ(株)のメーカーサービス指定店	トータルメンテナンス事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 大型空調機器をメインとした定期点検、修理対応 省エネ機器の提案 	<ul style="list-style-type: none"> 空調・厨房・給排水・電気設備などのトータル保守契約
ビジネスモデル特性	<p>ストック型ビジネス</p> <p>新規参入がほぼないニッチ市場 (メーカーごとにメンテナンス業者が専属化する“縦割り”市場)</p> <p>新規営業が不要</p> <p>価格競争なし</p>	<p>市場が黎明期で開拓余地が広大</p> <p>強い営業力が必要</p> <p>設備投資が必要</p> <p>価格競争・サービス競争あり</p>
当社の強み	技術者⇒ ほぼ100%内製	内製+ローカルパートナー⇒ 対応地域拡大 (約40,000店舗と契約)
成長戦略	<ul style="list-style-type: none"> 顧客メーカー内シェア向上を目指す ▶ 規模に限界あり 省エネ機器などの提案営業 	<ul style="list-style-type: none"> 飲食や小売業など多店舗展開業種を集中的に開拓し、一括受注で成長スピードを加速する 中国を皮切りに、ビジネスの海外展開を推進 先行設備投資が一段落すれば、損益分岐点が下がる サービスの内製比率を向上させ、利益率を高める

Q.4 来期以降の計画について、
株主の皆様へご説明ください。

今回の株式上場という知名度向上の機会を得て、戦いの場が整いました。来期はトータルメンテナンス事業を益々拡大させ、成長路線を加速させていきます。具体的方策として、保守・管理を請け負うだけでなく、積極的に省エネ提案を行い、検証まで責任をもって実施することで、新たなクライアント様の信頼を獲得していきます。

また、中国上海市に設立した子会社「上海三機大樓設備維修有限公司」にも24時間365日対応のコールセンターを設置し、日本クオリティでの設備管理サービスを提供しています。大手コンビニチェーン店様の上海500店舗のメンテナンス契約に続き、大連の店舗も契約が決まりました。この拠点を中心に、日本から海外に進出している企業

様はもとより、現地企業や海外の企業にもサービスを提供していくと同時に、東南アジアでの展開を見据え、各国のリサーチを急いでいます。

こうした海外展開を含め、現在、中期経営計画を策定しており、来期中には発表させていただく予定です。10年後には、技術スタッフ5倍増、売上10倍を目指し、名実ともに日本一のトータルメンテナンス企業に成長したいと考えています。

上場はゴールではありません。

これからも、株主の皆様のご期待にお応えできるよう日々事業に邁進して参りますので、引き続き、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度末 (平成27年5月31日)	前連結会計年度末 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産	2,408,229	1,763,203
固定資産	318,270	404,327
有形固定資産	86,087	89,063
無形固定資産	14,463	20,516
投資その他の資産	217,720	294,747
資産合計	2,726,500	2,167,531

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度末 (平成27年5月31日)	前連結会計年度末 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債	1,134,109	1,098,686
固定負債	384,781	600,851
負債合計	1,518,891	1,699,538
純資産の部		
株主資本	1,189,659	436,932
その他の包括利益累計額	15,711	28,560
新株予約権	2,237	2,500
純資産合計	1,207,608	467,992
負債・純資産合計	2,726,500	2,167,531

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 (自平成26年6月1日 至平成27年5月31日)	前連結会計年度 (自平成25年6月1日 至平成26年5月31日)
売上高	5,897,840	5,481,138
売上原価	4,558,738	4,270,467
売上総利益	1,339,102	1,210,671
販売費及び一般管理費	972,610	914,802
営業利益	366,491	295,868
営業外収益	21,523	7,390
営業外費用	29,014	13,896
経常利益	359,000	289,362
特別利益	29,441	1,146
特別損失	2,104	3,794
税金等調整前当期純利益	386,337	286,713
少数株主損益調整前当期純利益	213,839	164,324
当期純利益	213,839	164,324

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

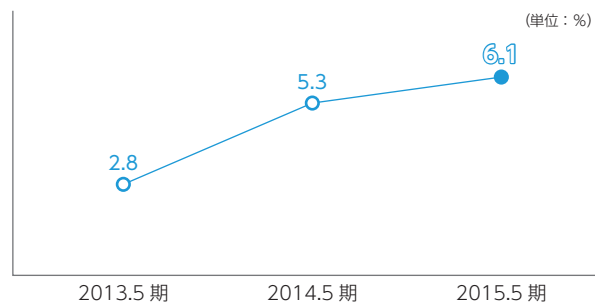
科 目	当連結会計年度 (自平成26年6月1日 至平成27年5月31日)	前連結会計年度 (自平成25年6月1日 至平成26年5月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	20,396	272,667
投資活動による キャッシュ・フロー	36,465	△21,724
財務活動による キャッシュ・フロー	261,498	△225,129
現金及び現金同等物に 係る換算差額	6,113	2,349
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	324,473	28,163
現金及び現金同等物の 期首残高	361,742	333,578
現金及び現金同等物の 期末残高	686,215	361,742

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

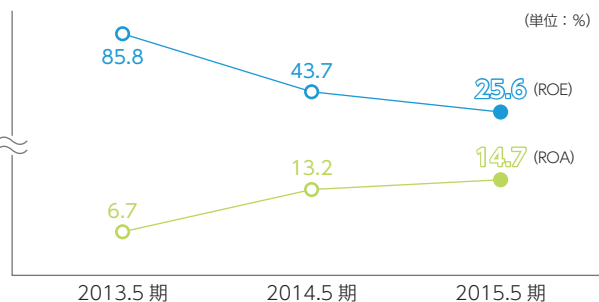
7

8

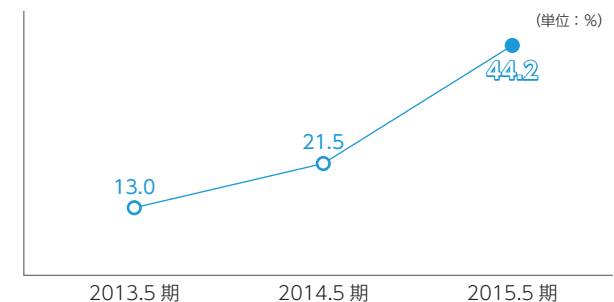
売上高経常利益率



自己資本当期純利益率 (ROE)・総資産経常利益率 (ROA)



自己資本比率



当社の配当政策

▶ 年1回の期末配当が基本方針

- 経営成績及び財政状態を勘案したうえで、**配当性向30%**を目途に利益還元
- 2015年5月期は1株当たり**45円配当**
- 内部留保については、企業体質の強化及び将来の事業展開のための財源として利用

会社概要 (2015年6月1日現在)

会社名 株式会社三機サービス
 英文名 SANKI SERVICE CORPORATION
 設立 1977年7月11日
 本社所在地 兵庫県姫路市東延末三丁目12番地
 白鷺ビル6階
 資本金 36,043万円
 従業員数 単体：292名 連結：319名

国内拠点

本社 兵庫県姫路市東延末三丁目12番地白鷺ビル6階
 札幌センター 北海道札幌市東区北十二条東14丁目3番地8号
 東京センター 東京都江東区亀戸2丁目26番10号タチバナビル5階
 横浜センター 神奈川県川崎市多摩区西生田2丁目3番地1号
 静岡センター 静岡県静岡市駿河区石田3丁目13番地23号
 浜松センター 静岡県浜松市南区安松町1873番地の1
 東海センター 愛知県名古屋市中区中川区十番町4丁目9番地アソシエビル3階
 大阪センター 大阪府吹田市南吹田5丁目22番10号
 神戸センター 兵庫県神戸市長田区神楽町2丁目3番地1号第2丸鹿ビル4階
 兵庫センター 兵庫県姫路市野里109番地の17

海外子会社

上海三機大楼設備維修有限公司

中国上海市浦东新区東方路1361号海富花園3号楼G層D室

取締役及び監査役 (2015年8月27日現在)

代表取締役社長 中島 義兼
 取締役 大橋 一彦
 取締役 越智 玲緒奈
 取締役 北越 達男
 取締役 鈴木 尚人
 取締役 小田 重廣
 常勤監査役 松本 邦雄
 監査役 北岡 昭
 監査役 荻野 正和

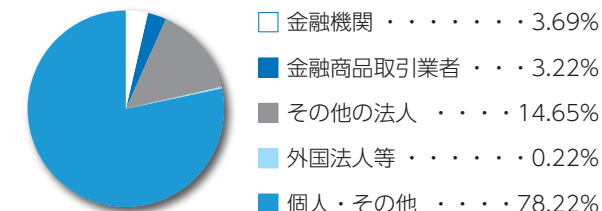
1. 取締役小田重廣氏は、社外取締役であります。
 2. 監査役北岡昭及び荻野正和の両氏は、社外監査役であります。



株式の状況 (2015年5月31日現在)

発行可能株式総数 5,000,000株
 発行済株式の総数 1,639,345株
 株主数 1,118名
 単元株式数 100株

所有者別株式分布状況



大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
中島 義兼	393,500	24.00
三機サービス従業員持株会	279,745	17.06
株式会社中島産業	200,000	12.20
中島 薫子	75,000	4.57
中島 諒子	35,000	2.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	25,400	1.55
中島 悠希	25,000	1.52
中島 杏菜	25,000	1.52
常盤ステンレス工業株式会社	23,000	1.40
株式会社SBI証券	21,400	1.31

(注) 自己株式は所有しておりません。

株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで
 定時株主総会 毎事業年度終了後3ヶ月以内
 基準日 定時株主総会 毎年5月31日
 期末配当金 毎年5月31日
 中間配当金 毎年11月30日
 (中間配当を実施する場合)
 単元株式数 100株
 公告方法 電子公告により行う。
 やむを得ない事由により、電子公告による
 ことができない場合は、日本経済新聞に掲載す
 る方法により行う。
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 (郵便物送付先) 〒541-8502
 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 (電話照会先) 0120-094-777
 各種事務手続き 詳しくは、こちらのページにてご確認ください。
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。